

資源調査分科会の検討に当たって（検討用メモ）

資源調査分科会の役割

時代の要請に応じ、資源の総合的な利用に関して、省庁の枠を超えて、科学技術の観点から、将来を見据えた先駆的な提言をすること

検討に当たっての視点

我が国の文化資源の保存・活用・創造を支える技術開発・科学技術の振興を提言する。

（課題）文化資源の総合的な保存・活用 ～ 文化資源の保存・活用及び創造を支える技術開発 ～

検討対象の範囲

文化資源一般

文化資源の発掘・考証・評価

（科学技術の振興例）

地下レーダー探査
電気探査・磁気探査
水中音波探査
リモートセンシング など

文化資源の保存

（科学技術の振興例）

保存技術・・・非破壊測定法の改良、地球環境に配慮した殺菌防かび法など
防災対策・・・文化資源の移設、補強
生物多様性・・・GIS（地図情報システム）を活用した稀少動物の営巣地保全
いわゆる職人芸の科学技術による体系化（デジタル技術化） など

文化資源の公開と活用

情報通信技術の活用
文化資源についての情報発信

（科学技術の振興例）

ヴァーチャル水族館・ヴァーチャル恐竜博物館
（絶滅して現実には存在しない生物を展示）
ヴァーチャル博物館
（ラスコー洞窟など一般公開できない文化資源を体験するための展示）
メディア芸術の配信・展示のための技術

新たな文化資源の創造

(科学技術の振興例)

メディア芸術の表現方法としてのヴァーチャルリアリティ技術等

メディア芸術の制作支援のための技術(迅速化・低コスト化)

美術・造形のための材料・素材